

佐賀県知事 様

住所（主たる事務所所在地）唐津市和多田2430
開設者（名称）日本赤十字社
代表者職氏名 社長 近衛 忠輝
電話番号 0955-72-5111



地域医療支援病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、唐津赤十字病院（地域医療支援病院の名称承認を受けている病院の名称）の平成29年度の業務に関して報告します。

記

1 紹介患者への医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

（算定期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日）

紹介率	$A/B - (C+D+E) \times 100 = 84.6\%$ (端数切捨て、小数第1位まで記入)	
算出基礎	A : 紹介患者の数	8,035人
	B : 初診患者の数	22,192人
	C : 地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数（初診に限る）	
	D : 休日又は夜間に受診した救急患者の数（初診に限る）	12,705人
	E : 健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数（初診に限る）	0人 検診指定病院ではない

(注) A、B、C、D、Eは、算定期間（前年度）の延べ数を記入すること。

2 逆紹介率に関する状況

逆紹介率	$F/B - (C+D+E) \times 100 = 58.3\%$ (端数切捨て、小数第1位まで記入)	
算出基礎	F : 逆紹介患者の数	5,537人
	B : 初診患者の数（1の初診患者の数と同じ）	22,192人

(注) 1 Fは、診療情報提供料を算定した患者（社会保険診療以外の患者のうちこれに相当する患者を含む。）の数（前年度の実人員数）を記入すること。
2 A、B、C、D、E、Fの定義は、平成26年3月31日付け医政発第0331号第4号各都道府県知事あて厚生労働省医政局長通知「医療法施行規則の一部を改正する省令の施行について」によること。

※ 紹介率が60%超80%未満の病院（逆紹介率が30%を上回る病院を除く。）については、承認後2年間で紹介率を80%以上とするための計画を以下に記入し、添付すること。
 (通知第二-3-(1)-⑤)

(1) 紹介率向上のための基本方針と向上のための具体的な予定措置

--

(2) 年次計画

計画期間			
年次目標紹介率	第1年度 ()	計画	実績 %
	第2年度 ()	計画	実績 %

(紹介率は、端数切捨て、小数第1位まで記入)

2 共同利用の実績（別紙様式1）

3 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	2,200人 (1,249人)
上記以外の救急患者の数	14,668人 (890人)
合 計	16,868人 (2,139人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。
括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

救急用又は患者輸送用自動車	救急用	台
	患者輸送用	1 台

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績（別紙様式2）

5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法（別紙様式3）

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績（別紙様式4）

7 委員会の開催の実績（別紙様式5）

8 患者相談の実績（別紙様式6）

病院名	唐津赤十字病院
住 所	佐賀県唐津市和多田2430
電話番号	0955-72-5111
事務担当部署	患者総合支援センター
事務担当者	堤 多磨子

(別紙様式1)

地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）の実績

1 共同利用の実績（実績期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(通知第二-3-(2)-イ)

共同利用を行った医療機関の延べ数 A		10			前年度の実績について記入すること。 (要50%以上)
上記の内、開設者と直接関係のない医療機関の延べ数 B		10			
共同利用率 $B/A \times 100$ (端数切捨て、小数第1位まで記入)		100%			
共同利用病床の状況	常時共同利用可能な病床数	対象病床数	利用病床数	利用率	
	5床	1825床	194床	10.6%	

(注) 共同利用病床の状況については、前年度の延べ数により共同利用率を算出すること。

対象病床数＝常時共同利用可能な病床数×365日（閏年は366日）

利用病床数＝前年度に共同利用した延べ病床数

利用率＝利用病床数÷対象病床数×100（端数切捨て、小数第1位まで記入）

2 共同利用の対象となる建物等の範囲

(医療法施行規則第9条の16第1号ロ)

建 物	建物の全部（延面積 24,676.49㎡）
設 備	CT装置2台、MRI装置2台、RI装置1台、リニアック装置1台
器械又は器具	上記に付随する器械及び器具一式（パソコン、電話、FAX等）

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち共同利用を行ったものを明記すること。

3 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
医療機関数 36施設				

(注) 当該医療機関と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみを記入すること。

唐津赤十字病院共同診療病床登録医療機関名簿

平成29年度

NO	医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科	経営上の関係	電話番号	FAX番号	備 考
1	いのうえ内科クリニック	井上 孝利	唐津市町田1丁目8-5	内科、消化器科	無	70-1765	70-1766	
2	井本整形外科・内科クリニック	井本 浩樹	唐津市東城内17-26	整形外科、外科、リハビリテーション科、内科、リウマチ科	無	74-8700	74-8310	
3	岩本内科	岩本 剛人	唐津市海岸通り182-306	内科、消化器科、循環器科、放射線科	無	72-2877	74-5199	
4	大庭医院	大庭 忠弘	唐津市呼子町大字呼子3590-5	内科、循環器科、皮膚科	無	82-3811	82-3811	
5	黒木医院	黒木 俊高	唐津市巖木町大字牧瀬39-4	内科、外科、皮膚科、泌尿器科	無	63-2331	63-2338	
6	河野整形外科医院	河野 一郎	唐津市二太子3丁目14-8	整形外科、リハビリテーション科	無	72-8800	72-2199	
7	田淵医院	田淵 吉延	東松浦郡玄海町大字諸浦6-1	内科、外科、胃腸科、循環器科	無	52-2311	52-2373	
8	野口内科	野口 晶教	唐津市大名小路2-43	内科	無	72-2314	73-5206	
9	服巻医院	服巻 信也	唐津市船宮町2588-3	外科、胃腸科、整形外科、眼科、リハビリテーション科、リウマチ科	無	72-2360	72-2359	
10	平川病院	平川 英典	唐津市山本644-5	外科、内科、胃腸科、脳神経外科、麻酔科	無	78-0026	78-2200	
11	平川俊彦脳神経外科	平川 俊彦	唐津市鏡4643-1	脳神経外科、神経内科、リハビリテーション科	無	77-4100	77-4306	
12	冬野医院	冬野 玄太郎	唐津市西城内5-12	内科、呼吸器科	無	72-2905	73-2692	
13	保利クリニック	保利 喜英	唐津市南城内3-34	整形外科、外科、リハビリテーション科、内科	無	72-4511	72-4537	
14	本城医院	本城 史郎	唐津市刀町1537-4	耳鼻咽喉科、気管食道科、内科、麻酔科、アレルギー科	無	72-5420	75-2287	
15	三浦医院	三浦 正徳	唐津市呼子町殿ノ浦吹上123	内科	無	51-1138	51-1395	
16	宮崎外科胃腸科	宮崎 素彦	唐津市新興町3001-3	外科、胃腸科	無	72-8115	75-2235	
17	森永胃腸科医院	森永 龍磁	唐津市東唐津3丁目1-13	内科、胃腸科	無	73-2001	73-2002	
18	山下町クリニック	佐藤 正明	唐津市山下町1141-2	内科、呼吸器科、消化器科、循環器科	無	72-4478	74-7269	
19	吉富外科胃腸科医院	吉富 宗治	唐津市千代田町2583-5	外科、胃腸科、循環器科	無	72-4328	73-8499	

唐津赤十字病院共同診療病床登録医療機関名簿

平成29年度

NO	医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科	経営上の関係	電話番号	FAX番号	備 考
20	吉田内科クリニック	吉田 昭	唐津市紺屋町1675-2	内科、呼吸器科、循環器科、リハビリテーション科	無	79-5500	79-5501	
21	脇山内科	脇山 哲史	唐津市町田1丁目2398番地2	内科、呼吸器科、循環器科、小児科、神経内科	無	72-4780	72-4780	
22	渡辺内科	渡辺 謙一	唐津市肥前町大字入野915-7	内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、リハビリテーション科	無	54-0016	54-0112	
23	日高内科循環器科医院	日高 義雄	唐津市鏡2852-1	内科、循環器科	無	77-6013	77-6014	
24	山田整形外科クリニック	山田 修	唐津市呼子町大字呼子3753	整形外科、外科、リハビリテーション科、リウマチ科	無	82-5540	82-5540	
25	川口整形外科医院	川口 宗義	唐津市東町19番地6号	整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科	無	70-1333	70-1713	
26	副島整形外科病院	副島 茂徳	唐津市和多田天満町1丁目2-1	整形外科、リハビリテーション科	無	75-8335	72-8337	
27	副島整形外科クリニック	副島 康	唐津市和多田天満町1丁目2-1	整形外科、リハビリテーション科	無	75-8335	72-8337	
28	唐津市民病院きたはた	大野 每子	唐津市北浜多大字徳須恵1201-1	内科、小児科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科	無	64-2611	64-3749	
29	ふじい胃腸内科小児科	藤井 徳秀	唐津市大石町2414	内科、消化器科、小児科	無	72-2370	72-7531	
30	あおぞら胃腸科	笠原 健太郎	唐津市浜玉町大字兵崎803	内科、外科、胃腸科、肛門科、麻酔科	無	56-2152	56-2312	
31	小川島診療所	八板 信介	唐津市呼子町大字小川島161-1	全科	無	82-8010	82-8010	
32	加唐島診療所	大林 航	唐津市鎮西町大字加唐島407	内科、小児科、外科	無	82-9350	82-9350	
33	神集島診療所	洪木 紗季	唐津市神集島2782-3	全科	無	79-1577	79-1587	
34	馬渡島診療所	池田 翔大	唐津市鎮西町大字馬渡島24	内科、外科	無	82-9014	82-9014	
35	唐津東松浦医師会医療センター	原田 実根	唐津市千代田町2566-11	内科、外科、放射線科	無	75-5181	75-5192	
36	高島診療所	宮本 裕介	唐津市高島675-5	全科	無	74-3360	74-3382	

(別紙様式2)

地域医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

1 研修の開催状況 (通知第二-3-(4)-ア)

地域の医師等を集めた症例検討会	<p>検討会名：紹介症例報告会 実施期間：平成29年5月・7月・9月・12月 平成30年1月・3月 参加人数：院内303人・院外116人 (延人数)</p> <p>検討会名：臨床病理カンファレンス (CPC) 実施期間：平成29年4月・5月・10月 平成30年1月・2月・3月 参加人数：院内103人・院外0人 (延人数)</p>
医学・医療に関する講習会	<p>講習会名：地域がん診療拠点病院公開講演会等 実施期間：平成29年5月・6月・7月・8月・10月・11月・12月 平成30年1月 参加人数：院内453人 (488人) 院外 201人 (188名)</p> <p>講習会名：感染対策研修会・公開講演会 実施期間：平成29年8月・11月 参加人数：院内 1,212人 (584人)・院外 123人 (129人)</p> <p>講習会名：医療安全管理研修会 実施期間：平成29年7月・8月・12月 平成30年1月・2月・3月 参加人数：院内 1,564人 (618人)・院外 20人 (25人)</p> <p>講習会名：NST勉強会 実施期間：平成29年6月・8月・11月・12月 参加人数：院内 183人 (181人)・院外 129人 (113人)</p>

(注) 前年度の実績について記入すること。

- 2 研修プログラム（知第二-3-(4)-イ）の有無 有 無
 ※ 有の場合は、研修目標、研修計画、研修指導体制その他必要な事項を定めた研修プログラムを添付すること。

3 研修責任者（通知第二-3-(4)-ウ）

職名	副院長	氏名	宮原 正晴
----	-----	----	-------

4 研修指導者

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
宮原 正晴	医師	内科	副院長	28年	研修責任者

(注) 研修責任者については特記事項欄にその旨を記載すること。

- 5 研修委員会（通知第二-3-(4)-ウ）の有無 有 無
 ※ 有の場合は、研修委員会の設置要綱等を添付すること。

6 研修の実施ための施設及び設備（通知第二-3-(4)-エ）

研修のための施設	<ul style="list-style-type: none"> ・講堂 200名程度収容可能 ・会議室1～4（各12名程度） 会議室5（24名程度） ※会議室2・3、及び会議室4・5は連結可能
研修のための設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 映写設備 ・ 放送設備 ・ パソコン設備

唐津赤十字病院地域医療研修プログラム

1 研修目的

地域の医師会及び地域医療機関、保健福祉事務所並びに関係諸機関と密接な連携を保ち、当院が持つ人的・物的資源を包括し、地域の医師、歯科医師及びコメディカルスタッフ等すべての医療従事者の資質の向上を図ることを目的とする。

2 研修目標

- (1) 地域の医療機関の医療水準の向上のため、病院の施設・設備等を積極的に開放して研修を行う。
- (2) 地域医療機関との診療連携の推進及び医療技術等の向上を図るため、当院において研修会、講演会を企画し、多くの医療関係者に参加を促す。

3 研修内容

- (1) 医学講演会、教育講座
専門家等による医学、医療技術に関する講演会・教育・教養講座を地域医療従事者を対象に行う。
- (2) オープンシステムによる症例、臨床、病理検討会
オープンシステムによる地域医師会との症例、臨床に関する検討会を開催し、診断および治療方法を各専門領域毎に、或いは各科合同により総合的に検討し、診断技術の向上を図るとともに、さらに臨床検査技師を含めた病理検討会を開催する。
- (3) その他
その他、必要に応じ各医療従事者を対象とした研修会、講習会を実施して資質の向上を図る。

4. 研修責任者

病院副院長

5. 研修計画

研修内容は、次のとおりとする。(研修計画は別紙)

項目	研修等内容
医師、歯科医師の生涯研修	①専門医学講座、②特別講演、③医師の生涯教育講座 ④症例検討会、⑤地域医療勉強会、⑥臨床病理検討会 ⑦その他
コメディカル研修	①地域医療勉強会、②薬剤師生涯教育講演会③その他
看護部門研修	①地域医療勉強会、②看護研究発表会、③その他

6. 実施時期 このカリキュラムは、平成19年4月1日から実施する。

平成29年度研修計画

I. 地域医師等の生涯教育等の研修計画

1. 地域医療研修
 - 1) 臨床病理カンファレンス (CPC) (1回/月)
 - 2) NST勉強会 (1回/2ヶ月)
 - 3) 紹介症例報告会 (1回/2ヶ月)
2. 地域がん診療拠点病院公開講演会
 - 1) 緩和ケア研修会
 - 2) がん公開講習会
 - 3) がん公開講演会
 - 4) がん特別講演会
3. 医療安全管理研修会
4. 感染対策研修会・特別講演会
5. 救急医療に関する研修会
 - 1) BLS講習会 (救急部医師担当)
6. 院外における学術講演会、学会への協力参加

II. 看護部門研修

1. 地域がん診療拠点病院公開講演会
 - 1) 緩和ケア勉強会 (事例検討)
2. 医療安全管理研修会
3. 院内感染対策研修会
4. 認定看護師による公開講習会
5. 看護研究発表会
6. 看護部伝達研修会
7. 院外における学術講演会、学会への協力参加

III. コメディカル研修

1. 医療安全管理研修会
2. 院内感染対策研修会
3. 唐津東松浦薬剤部会勉強会
4. 放射線技師会勉強会
5. 検査技師研修会

唐津赤十字病院地域医療研修に関する規程

(趣旨)

第1条 この規程は、唐津赤十字病院（以下「病院」という。）が地域の医療従事者に対する生涯教育その他の教育、研修（以下「研修等」という。）を適切に行い、その資質の向上を図るために必要な事項を定める。

(対象及び資格)

第2条 病院が実施する研修等を受けることができる者（以下「研修者」という。）は、北部医療圏において医療にかかわる機関を開設するか又はそこに勤務する医師、歯科医師、薬剤師、看護師及びその他の医療に従事することのできる資格を有する者とする。

- 2 研修者は、その所属する団体、医療にかかわる機関の代表者及び個人の要請により、病院において登録するものとする。
- 3 医師及び歯科医師にあつては、別に定める唐津赤十字病院施設設備等の共同利用登録制度に登録した者とする。

(研修及び研修プログラム)

第3条 病院における研修等を円滑かつ計画的に行うために、研修目的、研修内容、研修計画等を定めた研修プログラムを作成し、その運営のために地域医療支援研修委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

- 2 研修等の内容は、次に定めるとおりとする。
 - (1) 医学、医療に関する研修会、講習会
 - (2) 医師、歯科医師、看護師等を対象とする症例検討会
 - (3) 臨床病理カンファランス(C P C)
 - (4) 病院外で行われる研修会、講習会への講師の派遣
 - (5) 医学・薬学・医療等に関する情報の提供
 - (6) 図書室その他の研修に必要な施設の利用
 - (7) その他医療従事者の資質の向上を図るための研修等

(委員会)

第4条 委員会は、研修等が適切に行われるよう研修プログラムの管理及び評価を行う。

- 2 委員会は病院の医師、歯科医師、看護師及びその他の医療に携わる者及び病院の職員以外の委員で組織し、委員は病院院長が委嘱する。
- 3 委員会に委員長を置き、委員長は病院の副院長の職にある者が充たり、委員会の議長を務めるものとする。

- 4 委員会は定期的及び必要に応じて開催するものとする。
- 5 委員会の庶務は、総務課において処理する。

(研修責任者)

第5条 研修等を総括する者として研修責任者を置き、病院副院長を充てる。

(補則)

第6条 この規程に定めるもののほか、研修等の実施に関し必要な事項は、病院院長が別に定める。

附 則

この規則は、平成19年5月25日から施行する。

別紙

地域医療支援研修委員会名簿

平成29年度

区 分	職 名	氏 名
委員長	副院長	宮原 正晴
委 員	事務部長	池田 隆雄
〃	看護部長	加藤 英子
〃	医局長	北村 貴弘
〃	医療安全管理者	坂本 美奈子
〃	薬剤課長	岩田 和弥
〃	医療技術部技師長	木下 政憲
〃	放射線技術課長	平田 一英
〃	リハビリテーション技術課長	麻生 昭秀
〃	患者総合支援センター長	眞武 邦茂
〃	事務副部長	蒲原 晃司
〃	唐津保健福祉事務所長	木室 博文
〃	唐津東松浦医師会事務局長	常吉 徳太郎

唐津赤十字病院地域医療研修実施要綱

(目的)

第1条 この要綱は、唐津赤十字病院地域医療研修に関する規程(以下「規程」という。)

第6条に基づき研修等の実施に関し必要な事項を定める。

(研修等の種類)

第2条 研修等の種別は、次に掲げるとおりとする。

(1) 職種、部門別専門研修

①医師の教育・研修

医学講演会、症例検討会、臨床病理検討会(CPC)、医学講習会等

②看護部門の教育・研修

看護研修会、病棟別症例検討会、看護勉強会等

③医療技術部門の教育・研修

ア. 臨床検査部門

生理検査実技講習会、臨床検査部研修会、輸血検査実技講習会等

イ. 放射線部門

画像学習会等

ウ. 薬剤部門

新薬学習会、服薬指導症例検討会、医薬分業研修会、症例別薬剤勉強会等

エ. 栄養部門

NST研究会、糖尿病教室等

オ. MSW、在宅支援担当者

連携強化のためのコミュニケーション・スキルアップ研修会等

(2) 唐津赤十字病院医学会

講演会、研究発表会

(3) 特別研修

糖尿病教室、医療・保健・福祉連携勉強会等

(研修プログラム)

第3条 規程に定める研修責任者は、毎年2月末日までに、翌年度の研修プログラム(以下「研修プログラム」という。)を作成する。ただし、特定の患者の情報交換のための退院前カンファレンス等は、研修プログラムから除くものとする。

2 研修プログラムには、医師、看護師、薬剤師その他の職員を研修会、講演会(シンポジウム、セミナーの座長等を含む)の講師として派遣するものを含むものとする。

3 研修責任者は、研修プログラムの作成にあたっては、地域医療支援研修委員会(以下「委員会」という。)の意見を聴かなければならない。

(案内等)

第4条 研修責任者は、年度当初に研修プログラムを規程に定める研修者（以下「研修対象者」という。）にお知らせするものとする。

2 研修プログラムに基づき研修を実施する者（以下「研修実施者」という。）は、遅くとも研修実施日の3週間前までに研修者に対して、研修の具体的内容等のお知らせを行うものとする。

3 研修等の受講を希望する者（以下「研修受講者」という。）は、原則として研修実施日前日までに研修受講申込書を研修責任者に提出するものとする。

(受講証明の発行)

第5条 研修責任者は、研修受講者から希望があったときは、「研修名」、「研修日時」及び「参加者氏名」を記載した研修受講証明書を発行するものとする。

(実施報告等)

第6条 研修実施者は、研修終了後、速やかに研修実施報告書（様式第1号）を研修責任者へ提出しなければならない。

2 研修会、講演会（シンポジウム、セミナーの座長等を含む）の講師として派遣された医師、看護師、薬剤師その他の職員は、研修終了後、速やかに研修講師報告書（様式第2号）を研修責任者へ提出しなければならない。

3 研修責任者は、前2項により提出された報告をとりまとめのうえ、年1回委員会へ報告するものとする。

(その他)

第7条 研修責任者は、この要綱を修正または廃止しようとするときは、委員会の意見を聴くものとする。

附 則

この要綱は、平成19年5月25日から施行する。

様式第1号

研修実施報告書

研修（講座）名			
研修目的			
実施期間	年 月 日		
研修の対象者			
参加人員			
研修（講座）主催部署		研修（講座） 責任者	
研修に係る問題点（地域医療支援研修委員会）			

※本報告書は研修終了後、必ず、総務課まで提出してください。

(別紙様式3)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者氏名	院長 志田原 哲
管理担当者氏名	診療情報管理士 岩本 利恵子

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 入院診療録、リハビリ記録、処方せん、栄養に関する記録、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約、その他の記録、同意書、診断書		診療支援課 X線フィルムはフィルムレス以前のは、倉庫で保管	「唐津赤十字病院診療録管理規程」に基づき、入院・外来別に綴り保管管理している。 X線フィルムレス倉庫で保管
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	診療録管理室 医事課	
	救急医療の提供の実績	救命救急管理センター	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	教育研修推進センター	
	閲覧実績	医療社会事業課	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	患者総合支援センター 医事課	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(別紙様式4)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	院長 志田原 哲
閲覧担当者氏名	医療社会事業課長 入江 富美夫
閲覧の求めに応じる場所	医療社会事業課

平成29年度

前年度の総閲覧件数		67件
閲覧者別	医師	1件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	28件
	その他	38件

(注) 閲覧件数については、前年度の総延べ数を記入すること。

(別紙様式5)

委員会の開催の実績

委員会の開催回数	平成29年度 第1回
委員会における議論の概要	
1 日 時：平成29年10月6日（月）18：30～19：30	
2 場 所：唐津赤十字病院 会議室5	
3 出席者：出席13名（委員総数8名）	
3 議 題：1. 患者の紹介、逆紹介率について	
2. 施設、設備等の共同利用について	
3. 救急医療の提供について	
4. 地域医療従事者に対する研修会について	
5. 相談件数について	
6. 紹介症例報告会について	
7. 地域医療連携パス、がん連携パスについて	
8. 佐賀県診療録地域連携システムについて	

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(別紙様式6)

患者相談の実績

平成29年度

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他(病棟)
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	患者総合支援センター看護師 神谷 和子・稲堂丸 眞実 社会福祉士 岩田 亜衣・肘井 和樹・柿木 伸也・松尾 あすみ
患者相談延人数	6,487人 * (5,018人) 内は28年度 患者相談延人数
患者相談の概要	
＜相談援助調整内容 延件数＞ *1回の相談で複数の調整内容へのカウントもあり	
家族関係に関すること	237件 (114件)
在宅介護・地域生活に関すること	858件 (726件)
療養生活に関すること	1,543件 (657件)
経済的問題に関すること	241件 (143件)
就労・職場環境に関すること	13件 (11件)
就学・教育環境に関すること	1件 (3件)
虐待・暴力・人権に関すること	39件 (13件)
受診・受療に関すること	404件 (188件)
転院に関すること	3,162件 (2,845件)
他施設利用に関すること	764件 (552件)
心理・情緒的問題に関すること	43件 (37件)
他福祉関係法利用に関すること	1,409件 (1,147件)
その他	1件 (4件)
合計	8,715件 (6,440件)

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。